

【一般質問通告書】(令和8年6月定例会)

質問 順序	質 問 者	質問の要旨	具 体 的 内 容
1	平川 幸司	1. 中学校の部活動について	(1) 白杵市における中学校部活動の地域展開(移行)に向けた取組について ① 現状とこれまでの経緯について ② 進捗状況について ③ 今後の方針について
		2. 選挙について	(1) 投票率向上に向けた施策と今後の取組について ① 地方選挙における投票率の推移について ② 4月19日執行の市議会議員選挙における投票所の統廃合及び移動期日前投票所の活用による影響について ③ 移動投票所の利用促進及び利便性向上について ④ 若年者の投票率向上に向けた取組について
2	広田 精治	1. 圃場整備にかかる排水溝、用水路について	(1) 吉田川流域の圃場整備事業について以下を問う。 ① 吉田川を挟んで川平・吉岡側の圃場(以下、吉岡圃場という)、柘原・石上側の圃場(以下、石上圃場という)のそれぞれの竣工・検査完了日 ② 2つの圃場それぞれの筆数と総面積及び用水路の総距離 ③ 石上圃場の最上流部の圃場数筆に必要な排水溝が布設されていないことの認識 ④ 石上圃場の用水路の溢水、滞留による下流域圃場が例年水不足になっていることの認識 ⑤ 石上圃場の用水路上流地点と下流地点の高低差の測定結果について (2) 石上圃場に必要排水溝の布設および用水路の溢水、勾配の修復、流量確保の対策を問う。
		2. 国道の歩道設置について	(1) 「令和6年度清水原地区歩道整備工事」及び「令和7年度清水原地区歩道整備工事」について以下伺う。 ① 要望団体と要望年月 ② 本市の国への要望日 ③ 工事の緊急性、必要性の判断 ④ 各工事の発注額 (2) 令和4年6月5日、泊地区が求めた国道の歩道設置について伺う。 ① 1工区、2工区の設置設計を業務委託し、作成した設計図を地区に示した日 ② 1工区の竣工・検査完了の日 ③ 2工区の設置を国に要望をしなかった理由
		3. 個人所有の名所や旧跡などの観光資源の維持管理について	高齢化の進行の中で個人所有の名所、旧跡など観光資源の維持管理に困難が生じていることについて以下伺う。 (1) 個人所有及び管理の名所、旧跡などの現状への認識。 (2) 課題と対策について

【一般質問通告書】(令和8年6月定例会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容
3	宗 和義	1. 部活動の地域移行・地域展開について	(1) 部活動の教育的意義について (2) 地域移行・地域展開に対する基本的な考え方について (3) 今後の取組について
4	戸匹 映二	1. 地域公共交通の利便性の向上について  2. スポーツや社会活動・学校現場における傷病などの救急救命態勢について	(1) 白杵市のコミュニティバスやデマンドタクシー等の地域公共交通について、現状の利用状況と課題認識及び今後の取組方針をお伺いいたします。 (2) 近年、タクシーの自由運行性とバスの経済性の両方を兼ね備えた地域公共交通として、「AI活用型オンデマンドバス」の導入が広がってきています。白杵市においても有効な地域公共交通の手段になると考えますが、市の認識をお伺いいたします。  (1) 市内の公共施設や学校現場における救急救命態勢について、現状の取組と課題認識をお伺いいたします。 (2) 日常的に人の集まる市内の公共施設や学校施設の利用時には、常に救急救命の準備を整えておくため、利用する市民も含めた緊急時対応計画(EAP:エマージェンシーアクションプラン)の作成を普及する取組が必要と考えますが、市の認識をお伺いいたします。
5	山手 耕	1. 人口減少時代における公共施設マネジメントと財政運営について  2. 「安心生活お守りキット」事業について	人口減少等の社会情勢の変化に伴い、将来にわたる公共施設などの適正な維持管理やあり方を定めた「白杵市公共施設等総合管理計画(2026年3月改訂)」について、以下の点を伺う。  (1) 公共施設削減目標と実績の乖離について ① 前回未達の要因分析と、今回達成するための具体策は。 (2) 老朽化が進む中での施設総量の維持について ① 執行部は施設更新費用の財源不足をどのように認識しているのか。 ② 将来的に更新を断念する施設は想定しているのか。 ③ 長寿命化だけで、問題解決できると考えているのか。 (3) 「将来負担比率0%」と実態の乖離について ① 将来負担比率には、公共施設更新費不足が十分反映されているのか。 ② 「財政健全」と「施設維持可能」は別問題という認識はあるのか。 ③ 市民へ将来負担をどのように説明しているのか。 (4) 純資産の減少について ① 将来世代へ資産を引き継ぐという観点から、純資産減少を市はどのように分析しているのか。

【一般質問通告書】(令和8年6月定例会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容
6	匹田 久美子	<p>1. 熱中症予防対策の充実について</p> <p>2. 「脱炭素先行地域」の選定に伴う今後の取組と地域への効果について</p>	<p>令和6年4月に施行された改正気候変動適応法において、熱中症特別警戒アラートが発表された際のクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)開放が義務付けられた。深刻さを増す熱中症予防の啓発や対策を伺う。</p> <p>(1) 市民への効果的な啓発について</p> <p>(2) 熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラートのお知らせ及び活用について</p> <p>(3) クーリングシェルターの確保と活用について</p> <p>① 設置状況はどのようになっているか。</p> <p>② 周知や利用促進への工夫はしているか。</p> <p>白杵市は本年2月、環境省の「脱炭素先行地域」に選定された。今年度から5か年計画で、本市の脱炭素がどのように進むのか。また、災害時対応や地域経済にどう寄与するのか伺う。</p> <p>(1) 選定された計画について</p> <p>① 広域連携の概要と具体的な計画内容について</p> <p>② 市内の公共施設に導入予定の設備について</p> <p>(2) 災害時に想定されている対応力強化と市民へのメリットについて</p> <p>(3) 地域との連携や経済的な波及効果について</p> <p>(4) 市民への啓発や環境意識の醸成について</p>
7	保毛津林太郎	<p>1. 地域交通について</p> <p>2. 若者・現役子育て世代の定住促進と人口流出対策について</p>	<p>(1) 地域交通の現状について</p> <p>① 既存のコミュニティバス(ふぐバス)及びデマンド交通(ふじがわち号)の運行状況及び課題に対する市の認識をお伺いします。</p> <p>(2) 今後の白杵市の取組について</p> <p>① スクールバス等、既存行政資源との連携による「多機能型モビリティ」の導入の可能性や、今後の検討に向けた市のお考えをお伺いします。</p> <p>② 運転手不足に対応した住民互助によるマイカー活用「自治体ライドシェア」等について、今後の本市における研究や導入検討の方向性をお伺いします。</p> <p>(1) 現状認識とこれまでの施策の効果検証について</p> <p>① 本市における近年の若者・現役子育て世代の流出動向(特に就職・結婚・出産期における動向)をどのように分析しているか市の認識をお伺いします。</p> <p>② これまで実施してきた定住促進施策の具体的な効果と、現時点で見えてきた課題についての認識をお伺いします。</p> <p>(2) 今後の白杵市の取組について</p> <p>① 現状認識を踏まえた、今後の若者・現役子育て世代の「流出抑制と定着」に向けた基本方針をお伺いします。</p> <p>② 効果検証を踏まえた、本市独自の子育て・教育環境等の強みを未来へ繋げる「今後の展開の方向性」をお伺いします。</p>

【一般質問通告書】(令和8年6月定例会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容
8	河野 巧	1. 持続可能な地域づくりについて	<p>白杵市には300の自治会が存在し、地域の絆を深めています。その中心的な役割を担っていただいている存在が区長です。通常区長は大きく分けて2つの側面を持っています。一つは行政の依頼に基づいて業務を担う地域の代表としての区長、そしてもう一つは地域の代表として地域をまとめる役割を担う区長です。白杵市ではその両方を担う区長がほとんどです。また、地域振興協議会が設立され、区長と振興協議会の長の役割が市民の中でも混在しておりわかりにくいと感じている面も見受けられます。そこで、持続可能な地域づくりのために要と考えられる以下4点について市の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行政の依頼に基づいて業務を担う区長の仕事量と報酬について</li> <li>(2) 地域コミュニティの核として活用している集会所等の自治会施設の維持及び公費補助等について</li> <li>(3) 持続可能な自治会運営の理想の姿について</li> <li>(4) 区長及び地域振興協議会の長が果たすべき役割について</li> </ol>
		2. 地域の移動手段(地域交通)の維持・確保について	<p>人口減少や高齢化により公共交通を活用する市民と維持費のバランスが課題となっています。さらに、移動手段も多種多様化し、公共交通を維持する為の費用も増加傾向にあります。今後、持続可能な公共交通ネットワークの形成が重要となることから、昨年6月定例会で一般質問しました「地域の移動手段(地域交通)の維持・確保について」の回答を含め、以下4点について検討経過とその結果、今後の方針と経費負担について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 路線バス及びコミュニティバスとスクールバスの統合について</li> <li>(2) 持続可能な地域交通ネットワークの構想について</li> <li>(3) スクールバスの混乗および間合い利用について</li> <li>(4) デマンドタクシーについて</li> </ol>
		3. 公平で平等な選挙について	<p>選挙は民主主義を支える重要な制度であり、公平で平等な選挙が保証されなければならないと考えています。そのために、有権者だれもが公平で平等に安心して投票でき、投票しやすい環境を整えることが選挙管理委員会の使命だとも考えています。また、そのために選挙管理委員会は、一般行政の執行機関である市長から独立した機関であるとも認識しています。本年4月の市議会議員選挙から期日前投票所として移動投票車両が導入されたことも踏まえ、以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 白杵市選挙管理委員会が考える公平で平等が確保され、有権者が安心して投票できる選挙とはどのようなものか(①期日前投票所②不在者投票③当日投票所④移動期日前投票所)。またその評価内容と結果について</li> <li>(2) 移動期日前投票所の導入の過程における有権者の意思反映への配慮、および移動期日前投票所における公平で平等な投票行動が確保されたかについての評価等について</li> <li>(3) きれいな選挙を実施するために、立候補予定者および支援者に対する指導及び配慮について</li> <li>(4) 投票率向上に向けた取組の成果(評価内容)と今後について</li> </ol>

【一般質問通告書】(令和8年6月定例会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容
9	大塚 州章	1. 南海トラフ巨大地震を見据えた道路ネットワーク整備の強化について	<p>(1) 南海トラフ巨大地震発生時における臼杵港新フェリーターミナル周辺、県道臼杵津久見線及び大泊浜徳浦線の沿岸地域の津波浸水想定及び道路寸断リスクや避難経路について、どのような評価を行っているかお伺いします。</p> <p>(2) 臼杵港新フェリーターミナルを災害時の防災拠点として位置づけた場合、救援物資の輸送や広域支援部隊の活動を支える道路ネットワークについて、市の考えをお伺いします。</p> <p>(3) 沿岸部に立地する介護施設や工場施設を含めた孤立集落対策について、現在どのような対策を講じているのかお伺いします。</p> <p>(4) 災害に強いまちづくりを推進するため、国土強靱化や防災、減災対策の観点から、県及び国や関係機関と連携しながら、県道大泊浜徳浦線へ接続する道路整備の可能性について調査研究を行ってみたいかがか、市の見解をお伺いします。</p>
10	安東 鉄男	1. 「道の駅」について	<p>市長が推進する「リ・スタートうすき」に掲げる「臼杵の地域資源の魅力発信」で示される具体的取組のひとつに「臼杵の産品が集まる地域拠点施設の整備」がある。この中で想定する地域拠点施設とは『「道の駅」のようなもので、形態については十分に検討する』としているが、この地域拠点施設について伺う。</p> <p>(1) どのような役割を担う施設になることを目指すのか。</p> <p>(2) どこに設置しようと考えているのか。</p> <p>(3) 今後、どのような方針を持って取組を進めていくのか。</p>
		2. DXの推進について	<p>(1) 基礎自治体がDXを推進する理由について</p> <p>① 人口減少と少子高齢化が進む中で、限られた人員と予算でどのように市民サービスを維持・向上させていくのか</p> <p>(2) 過去3年間で導入したデジタルサービスについて、市民の利便性向上や職員の業務効率化の具体例はあるか</p> <p>(3) 高齢者やデジタル機器に不慣れな市民への対応はどのように考えているのか</p> <p>(4) 将来の目標と第2期DX推進計画の重点施策は何か</p>